（様式第１号）

第　　　号

　　 年　 月　 日

一般財団法人自治体国際化協会

理事長　〇〇　〇〇　様

〇〇市長　○○　○○

（公印省略）

多文化共生のまちづくり促進事業助成申請書

令和５年度多文化共生のまちづくり促進事業を実施したいため、

下記のとおり助成を申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| １　事　業　名 | 在住外国人を対象とした就労支援事業 |
|  | |
| ２　助成申請額 | １，４５５，０００円  （内訳は助成事業経費内訳書のとおり） |
|  | |
| ３　事業概要 | 外国にルーツを持つ中高生を対象に、進路セミナー及び職場見学会を実施する。進路セミナーでは、外国ルーツの大学生や社会人、外国ルーツの人が働く企業等に講演を依頼し、講演終了後には質問コーナーを設ける。職場見学会では現場を体感してもらい、参加者には将来の具体的なビジョンを描くきっかけとなり、企業等には外国ルーツの人材を雇用する可能性について考えるきっかけになることを目指す。 |
| ※枠内に収まるよう（最大７行）、簡潔に記載してください。 | |
| ４　添付書類 | （１）事業計画書（様式第１号－１）  （２）助成事業経費内訳書（様式第１号－２）  （３）その他参考資料 |
|  | |
| ５　担　当　者 | |  |  | | --- | --- | | 担当課 | ○○部　○○課 | | 職・氏名 | 主任　○○　○○ | | 電話番号 | １２３－４５６－７８９０ | | ＦＡＸ | １２３－４５６－０９８７ | | 電子メール | ○○＠○○ | |

（様式第１号－１）

※事業が継続して本助成を受けている場合は、右の□にレ点。また、令和４年度の事業計画書及び令和３年度以前の事業報告書（該当事業のみ）の写しを添付。

事業計画書

|  |  |
| --- | --- |
| 基本情報 | |
| 団体名 | 〇〇市 |
| ※複数団体の共同実施事業は　申請団体（その他団体） のように記載してください。 |
| 事業名 | 在住外国人を対象とした就労支援事業 |
| 実施内容  ※事業が採択された場合、実施内容を当協会HPにて公開します。 | |
| 実施期間 | 令和５年４月１日から令和５年１２月３１日まで |
| ※２月末日までに事業を完了し、実績報告書を提出してください。 |
| 背景・目的 | 昨年度本市で実施した「学校進路調査」の結果から、外国にルーツを持つ生徒の数が増加傾向にあること、生徒の多くが将来に明確なビジョンを描けずに学業に困難を抱えていることなどが判明した。ここ数年の進学ガイダンスにおいても多くの生徒・保護者から同様の相談があった。  以上のことから、外国にルーツを持つ中高生を対象に、進路セミナー及び職場見学会を実施し、参加者が将来の具体的なビジョンを描くきっかけになる機会を創出する。 |
| 事業詳細 | 外国にルーツを持つ中高生が在籍する市内中学校・高校、〇〇市教育委員会、〇〇市国際交流協会、〇〇市内企業、〇〇市立大学〇〇教授と検討会・対象者：外国にルーツを持つ中高生、市内企業  ・実施地域：〇〇市内  ・スケジュール   |  |  | | --- | --- | | 4-7月 | 1. 検討会議の開催（第１回） 2. 職場見学会参加企業の募集 3. 進路セミナーの登壇者への依頼 | | 7-9月 | 1. 検討会議の開催（第２回） 2. 参加者の募集 | | 9-10月 | 1. 進路セミナーの開催 2. 職場見学会の実施 | | 11-12月 | 1. 振り返り報告会の実施 2. 内容のホームページ掲載（動画等） |   ・詳細   1. 検討会議の開催（第１回）   外国にルーツを持つ生徒が在籍する市内中学校・高校、〇〇市教育委員会、〇〇市国際交流協会、〇〇市立大学〇〇教授、多文化共生マネージャーで検討会議を開催し、進路セミナー・職場見学会の実施内容の企画を検討する。   1. 職場見学会参加企業の募集   外国にルーツを持つ人を実際に雇用している企業、外国にルーツを持つ人の雇用を検討している企業を募集する。市内３企業程度を想定する。   1. 進路セミナーの登壇者の決定   外国にルーツを持つ大学生・社会人、外国にルーツを持つ人が働く企業に登壇を依頼する。それぞれ１～２名程度を想定する   1. 検討会議の開催（第２回）   職場見学会への参加企業、進路セミナーへの登壇者の決定を踏まえ、第１回と同様のメンバーで検討会を開催し、実施内容の企画を練る。   1. 参加者の募集   進路セミナーと職場見学会への参加者を募集する。  募集にあたっては市教育委員会と連携し、外国にルーツを持つ生徒が在籍する中学校・高校に声をかける。参加者は２０名程度を想定。   1. 進路セミナーの開催 2. 職場見学会の実施   検討会議を踏まえて実施内容の詳細を決定する。   1. 振り返り報告会の実施   検討会議の内容、事業実施内容、参加者・登壇者・参加企業へのアンケート、多文化共生マネージャーからの事業実施後の意見等について、オンラインで報告会を実施する。   1. 内容のホームページ掲載   ⑧で報告した内容をホームページに掲載する。  了承が得られれば、進路セミナーや職場見学会の様子がわかる動画等を掲載し、参加者以外にも活用してもらえるようにする。 |
| ※対象者、実施地域、スケジュール、研修会の内容や作成物の活用方法等、事業の具体的な内容が分かるように記載してください。 |
| 他団体・有識者等との連携の状況 | |
| 外国にルーツを持つ生徒が在籍する市内中学校・高校、〇〇市教育委員会、〇〇市国際交流協会、〇〇市立大学〇〇教授、多文化共生マネージャーを交えた検討会議を開催し、事業内容の詳細を決定する。多文化共生マネージャーには、職場見学会の内容の企画や実施方法へのアドバイスや優良事例の紹介を依頼するとともに、進路セミナー及び職場見学会に参加してもらい、事業実績について評価してもらうことで、事業改善につなげる。 | |
| 事業の重要性・必要性 | |
| 外国にルーツを持つ生徒は、卒業後の進路に不安を抱える傾向が強く、そのような中高生にとって、将来のビジョンの明確化は喫緊の課題である。また、企業の外国にルーツを持つ人の雇用にかかる意識改革のきっかけをつくるためにも、外国ルーツの中高生との交流の機会を提供することが、本市の多文化共生の推進につながると考える。 | |
| 事業の特長・期待できる効果  ※この事業ならではのアピールポイント、今後の展望を記載してください。 | |
| これまで、本市・国際交流協会・参加学校のみで進学セミナーを実施してきたが、新たに市内企業と連携して職場見学会を実施する。実施にあたっては検討会議を開催することで、現場のニーズや専門家の意見を反映し、これまでより効果的な運営を期待できる。  参加生徒と企業担当者とが直接会って情報交換をする機会を創出し、生徒にとっては具体的な将来のビジョンを描く機会に、企業にとっては外国ルーツの生徒を雇用する可能性を検討する機会にすることを目指す。 | |

※複数の事業を申請する場合は、それぞれ別葉にしてください。

※行の高さは、必要に応じて調整してください。

※参考資料がある場合は、添付してください。

（様式第１号－２）

助　成　事　業　経 費 内 訳 書

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業内容 | 総事業額 | 助成額 | 積 算 根 拠 | 経費の財源内訳 | | | 事業実施主体 |
| まちづくり  助成金 | 実施団体  負担分 | その他  負担分 |
| 検討会議 | 365 | 365 | 会場賃借料  100千円×2回＝200千円  旅費  4千円×10人×2回＝80千円  コピー用紙・印刷費（資料用）  30円×50枚×15人×2=45千円  謝金  20千円×1人×2回＝40千円 | 200  80  45  40 |  |  | ○○市 |
| 【小　計】 | 365 | 365 |  | 365 |  |  |  |
| 進路セミナー | 390 | 390 | 会場賃借料  100千円×1回＝100千円  登壇者謝金  20千円×6人×1回＝120千円  旅費  4千円×20人×1回＝80千円  コピー用紙・印刷費（資料用）  30円×60枚×50部=90千円 | 100  120  80  90 |  |  | 〇〇市 |
| 【小　計】 | 390 | 390 |  | 390 |  |  |  |
| 職場見学会 | 700 | 700 | 謝金（通訳）  20千円×2人×3企業＝120千円  謝金（参加企業）  20千円×3企業＝60千円  広報宣伝費  120千円×3企業=360千円  旅費（通訳）  5千円×2人×3企業＝30千円  旅費（事業実施主体）  4千円×10人×1回＝40千円  コピー用紙・印刷費（資料用）  30円×20枚×50部×3企業=90千円 | 120  60  360  30  40  90 |  |  | ○○市 |
| 【小　計】 | 700 | 700 |  | 700 |  |  |  |
| 合 計 | 1,455 | 1,455 |  | 1,455 |  |  |  |

　※事業内容ごとに経費の小計を設けてください。**自治体国際化協会助成**の千円未満の端数は小計ごとに切り捨ててください。

（様式第２号）

第　　　号

　年　月　日

一般財団法人自治体国際化協会

理事長　○○　○○　様

〇〇市長　〇〇　〇〇

　　　（公印省略）

多文化共生のまちづくり促進事業変更承認申請書

　　年　月　日付（自国多第　　号）で助成決定を受けた事業について、

下記のとおり変更したいので申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| １　事　業　名 | 在住外国人を対象とした就労支援事業 |
|  | |
| ２　変更の理由 | ※具体的に記載  職場見学会を３企業で開催することを予定していたが、１企業で開催することとなった。また、それに伴い、職場見学会にかかる経費が減となったもの。 |
|  | |
| ３　助成決定額 | １，４５５，０００円 |
|  | |
| ４　変更後の  助成申請額 | １，０１５，０００円  （内訳は添付書類のとおり） |
|  | |
| ５　添付書類 | （１）事業計画書（様式第２号－１）  （２）助成事業経費内訳書（様式第２号－２）  （３）その他参考資料 |
| ※事業を中止しようとするときは、添付書類（１）・（２）は不要です。 | |
| ６　担　当　者 | |  |  | | --- | --- | | 担当課 | ○○部　○○課 | | 職・氏名 | 主任　○○　○○ | | 電話番号 | １２３－４５６－７８９０ | | ＦＡＸ | １２３－４５６－０９８７ | | 電子メール | ○○＠○○ | |

（様式第２号－１）

事業計画書（変更後）

|  |  |
| --- | --- |
| 基本情報 | |
| 団体名 | 〇〇市 |
| ※複数団体の共同実施事業は　申請団体（その他団体） のように記載してください。 |
| 事業名 | 在住外国人を対象とした就労支援事業 |
| 実施内容  ※事業が採択された場合、実施内容を当協会HPにて公開します。 | |
| 実施期間 | 令和５年４月１日から令和５年１２月３１日まで |
| ※２月末日までに事業を完了し、実績報告書を提出してください。 |
| 背景・目的 | 昨年度本市で実施した「学校進路調査」の結果から、外国にルーツを持つ生徒の数が増加傾向にあること、生徒の多くが将来に明確なビジョンを描けずに学業に困難を抱えていることなどが判明した。ここ数年の進学ガイダンスにおいても多くの生徒・保護者から同様の相談があった。  以上のことから、外国にルーツを持つ中高生を対象に、進路セミナー及び職場見学会を実施し、参加者が将来の具体的なビジョンを描くきっかけになる機会を創出する。 |
| 事業詳細 | ・対象者：外国にルーツを持つ中高生、市内企業  ・実施地域：〇〇市内  ・スケジュール   |  |  | | --- | --- | | 4-7月 | 1. 検討会議の開催（第１回） 2. 職場見学会参加企業の募集 3. 進路セミナーの登壇者への依頼 | | 7-9月 | 1. 検討会議の開催（第２回） 2. 参加者の募集 | | 9-10月 | 1. 進路セミナーの開催 2. 職場見学会の実施 | | 11-12月 | 1. 振り返り報告会の実施 2. 内容のホームページ掲載（動画等） |   ・詳細  ①検討会議の開催（第１回）  外国にルーツを持つ生徒が在籍する市内中学校・高校、〇〇市教育委員会、〇〇市国際交流協会、〇〇市立大学〇〇教授、多文化共生マネージャーで検討会議を開催し、進路セミナー・職場見学会の実施内容の企画を検討する。  ②職場見学会参加企業の募集  外国にルーツを持つ人を実際に雇用している企業、外国にルーツを持つ人の雇用を検討している企業を募集する。市内１企業での実施を決定。  ③進路セミナーの登壇者の決定  外国にルーツを持つ大学生・社会人、外国にルーツを持つ人が働く企業に登壇を依頼する。それぞれ１～２名程度を想定する   1. 検討会議の開催（第２回）   職場見学会への参加企業、進路セミナーへの登壇者の決定を踏まえ、第１回と同様のメンバーで検討会を開催し、実施内容の企画を練る。   1. 参加者の募集   進路セミナーと職場見学会への参加者を募集する。  募集にあたっては市教育委員会と連携し、外国にルーツを持つ生徒が在籍する中学校・高校に声をかける。参加者は２０名程度を想定。   1. 進路セミナーの開催 2. 職場見学会の実施   検討会議を踏まえて実施内容の詳細を決定する。   1. 振り返り報告会の実施   検討会議の内容、事業実施内容、参加者・登壇者・参加企業へのアンケート、多文化共生マネージャーからの事業実施後の意見等について、オンラインで報告会を実施する。   1. 内容のホームページ掲載   ⑧で報告した内容をホームページに掲載する。  了承が得られれば、進路セミナーや職場見学会の様子がわかる動画等を掲載し、参加者以外にも活用してもらえるようにする。 |
| ※対象者、実施地域、スケジュール、研修会の内容や作成物の活用方法等、事業の具体的な内容が分かるように記載してください。 |
| 他団体・有識者等との連携の状況 | |
| 外国にルーツを持つ生徒が在籍する市内中学校・高校、〇〇市教育委員会、〇〇市国際交流協会、〇〇私立大学〇〇教授、多文化共生マネージャーを交えた検討会議を開催し、事業内容の詳細を決定する。多文化共生マネージャーには、職場見学会の内容の企画や実施方法へのアドバイスや優良事例の紹介を依頼するとともに、進路セミナー及び職場見学会に参加してもらい、事業実績について評価してもらうことで、事業改善につなげる。 | |
| 事業の重要性・必要性 | |
| 外国にルーツを持つ生徒は、卒業後の進路に不安を抱える傾向が強く、そのような中高生にとって、将来のビジョンの明確化は喫緊の課題である。また、企業の外国にルーツを持つ人の雇用にかかる意識改革のきっかけをつくるためにも、外国ルーツの中高生との交流の機会を提供することが、本市の多文化共生の推進につながると考える。 | |
| 事業の特長・期待できる効果  ※この事業ならではのアピールポイント、今後の展望を記載してください。 | |
| これまで、本市・国際交流協会・参加学校のみで進学セミナーを実施してきたが、新たに市内企業と連携して職場見学会を実施する。実施にあたっては検討会議を開催することで、現場のニーズや専門家の意見を反映し、これまでより効果的な運営を期待できる。  参加生徒と企業担当者とが直接会って情報交換をする機会を創出し、生徒にとっては具体的な将来のビジョンを描く機会に、企業にとっては外国ルーツの生徒を雇用する可能性を検討する機会にすることを目指す。 | |

※変更しようとする点には下線を引き、事業の過程を省略しようとする点は見え消しにしてください。

※行の高さは、必要に応じて調整してください。

※参考資料がある場合は、添付してください。

（様式第２号－２）

助　成　事　業　経 費 内 訳 書（ 変 更 後 ）

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業内容 | 総事業額 | 助成額 | 積 算 根 拠 | 経費の財源内訳 | | | 事業実施主体 |
| まちづくり  助成金 | 実施団体  負担分 | その他  負担分 |
| 検討会議 | 365 | 365 | 会場賃借料  100千円×2回＝200千円  旅費  4千円×10人×2回＝80千円  コピー用紙・印刷費（資料用）  30円×50枚×15人×2=45千円  謝金  20千円×1人×2回＝40千円 | 200  80  45  40 |  |  | ○○市 |
| 【小　計】 | 365 | 365 |  | 365 |  |  |  |
| 進路セミナー | 390 | 390 | 会場賃借料  100千円×1回＝100千円  登壇者謝金  20千円×6人×1回＝120千円  旅費  4千円×20人×1回＝80千円  コピー用紙・印刷費（資料用）  30円×60枚×50部=90千円 | 100  120  80  90 |  |  | 〇〇市 |
| 【小　計】 | 390 | 390 |  | 390 |  |  |  |
| 職場見学会 | 260  （700） | 260  （700） | 謝金（通訳）  20千円×2人×1企業＝40千円  謝金（参加企業）  20千円×1企業＝20千円  広報宣伝費  120千円×1企業=120千円  旅費（通訳）  5千円×2人×1企業＝10千円  旅費（事業実施主体）  4千円×10人×1回＝40千円  コピー用紙・印刷費（資料用）  30円×20枚×50部×1企業=30千円 | 40  20  120  10  40  30 |  |  | ○○市 |
| 【小　計】 | 260  （700） | 260  （700） |  | 260  （700） |  |  |  |
| 合 計 | 1,015  （1,455） | 1,015  （1,455） |  | 1,015  （1,455） |  |  |  |

　※１．（　　　）内には、交付決定時の額（既に変更承認を受けた場合は、変更承認後の額）を記載してください。

※２．事業内容ごとに経費の小計を設けてください。また、**自治体国際化協会助成**の千円未満の端数は小計ごとに切り捨ててください。

（様式第３号）

第　　　号

　　年　月　日

一般財団法人自治体国際化協会

理事長　○○　○○　様

〇〇市長　〇〇　〇〇

（公印省略）

多文化共生のまちづくり促進事業実績報告書

　　年　月　日付（自国多第　　号）で助成決定を受けた事業を完了したので、

下記のとおり報告します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| １　事　業　名 | 在住外国人を対象とした就労支援事業 |
|  | |
| ２　助成決定額 | １，０１５，０００円 |
|  | |
| ３　実績報告額 | ８４０，０００円 |
|  | |
| ４　実績概要 | 外国にルーツを持つ中高生を対象に、進路セミナー及び職場見学会を実施し、延べ４５名が参加した。進路セミナーでは、外国ルーツの大学生や社会人、外国ルーツの人が働く企業による講演と質問コーナーを設けた。職場見学会では市内の工場を訪問し、エンジニアとして働く外国ルーツの社員から話を聞くとともに、現場を体感してもらった。参加者が、将来の具体的なビジョンを描くきっかけをつくることができた。 |
| ※枠内に収まるよう（最大７行）、簡潔に記載してください。 | |
| ５　添付書類 | （１）事業報告書（様式第３号－１）  （２）助成事業経費報告書（様式第３号－２）  （３）支出命令書等（領収書を含む）及びその証拠書類の写し  （４）記録写真や成果物等 |
|  | |
| ６　担　当　者 | |  |  | | --- | --- | | 担当課 | ○○部　○○課 | | 職・氏名 | 主任　○○　○○ | | 電話番号 | １２３－４５６－７８９０ | | ＦＡＸ | １２３－４５６－０９８７ | | 電子メール | ○○＠○○ | |

（様式第３号－１）

事業報告書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 基本情報 | | |
| 団体名 | 〇〇市 | |
| ※複数団体の共同実施事業は　申請団体（その他団体） のように記載してください。 | |
| 事業名 | 在住外国人を対象とした就労支援事業 | |
| 実施期間 | 令和５年４月１日から令和５年１２月２０日まで | |
| 助成決定額 | １，０１５，０００円 | |
| 実績報告額 | ８４０，０００円 | |
| 総事業費 | ９１５，０００円 | |
| 事業実施の背景・地域の国際化の現状・国際化に向けた課題 | | |
| 昨年度本市で実施した「学校進路調査」の結果から、外国にルーツを持つ生徒の数が増加傾向にあること（2010年：〇人→2020年：〇人と10年で〇倍）、また生徒の多くが将来に明確なビジョンを描けずに学業に困難を抱えていることなどが判明した。ここ数年の進学ガイダンスにおいても多くの生徒・保護者から同様の相談があった。 | | |
| 事業の趣旨・目的 | | |
| 上記の背景があることから、外国にルーツを持つ中高生が将来の具体的なビジョンを描くことができるよう、進路セミナー及び職場見学会を実施したもの。 | | |
| 事業内容 | | |
| ・対象者：外国にルーツを持つ中高生、市内企業  ・実施地域：〇〇市内   1. 検討会議の開催（第１回）   ４月〇日（〇）〇：〇〇～〇：〇〇  外国にルーツを持つ生徒が在籍する、〇〇中学校、〇〇高校、〇〇市教育委員会、〇〇市国際交流協会、〇〇市立大学〇〇教授、多文化共生マネージャーの計〇人で検討会議を開催し、進路セミナー・職場見学会の実施内容の企画を検討した。検討内容は別添のとおり。   1. 職場見学会参加企業の募集   検討会議を踏まえ、外国にルーツを持つ人を実際に雇用している企業に絞って企業を募集した。募集の結果、（株）〇〇から応募があり、参加が決定した。   1. 進路セミナーの登壇者の決定   外国にルーツを持つ大学生・社会人、外国にルーツを持つ人が働く企業に登壇を依頼した。依頼者は次のとおり。  〇〇市立大学　経営学部　２年生　〇〇　〇〇　氏  （株）〇〇　　エンジニア　〇〇　〇〇　氏  （株）〇〇　　人事部　　〇〇　〇〇　氏   1. 検討会議の開催（第２回）   ７月〇日（〇）〇：〇〇～〇：〇〇  第１回メンバーに上記３名を交えて検討会を開催し、実施内容の企画を練った。  検討内容は別添のとおり。   1. 参加者の募集   進路セミナーと職場見学会への参加者を募集する。募集にあたっては市教育委員会と連携し、外国にルーツを持つ生徒が在籍する中学校・高校にちらし（別添）を配布した。   1. 進路セミナーの開催   日時：９月〇日（〇）〇：〇〇～〇：〇〇  場所：〇〇センター  参加者：〇人（中学生〇人、高校生〇人）  概要：質問コーナー  詳細は別添のとおり。   1. 職場見学会の実施   日時：１０月〇日（〇）〇：〇〇～〇：〇〇  場所：（株）〇〇  参加者：〇人（中学生〇人、高校生〇人）  概要：職場見学、職場体験、参加者と企業の交流会  詳細は別添のとおり。   1. 振り返り報告会の実施   日時：１１月〇日（）  検討会議の内容、事業実施内容、参加者・登壇者・参加企業へのアンケート、多文化共生マネージャーからの事業実施後の意見等について、オンラインで報告会を実施した。報告内容は別添のとおり。   1. 内容のホームページ掲載   振り返り報告会で報告した内容をホームページに掲載し、参加者以外にも活用してもらえるよう、外国にルーツを持つ生徒が在籍する中学校・高校にURLを周知した。  URL：http\*\*\* | | |
| 事業内容がわかる写真等 | | |
| 【進路セミナーの様子】 | | 【職場見学会の様子】 |
| 他団体・有識者等との連携の状況 | | |
| 外国にルーツを持つ生徒が在籍する市内中学校・高校、〇〇市教育委員会、〇〇県教育委員会、〇〇市国際交流協会、〇〇私立大学〇〇教授、多文化共生マネージャーを交えた検討会議を開催し、事業内容の詳細を決定した。多文化共生マネージャーには、職場見学会の内容の企画や実施方法へのアドバイスや優良事例の紹介を依頼し、進路セミナー及び職場見学会に参加してもらい、事業実績について評価をもらった。 | | |
| 具体的な成果（事業への参加人数等、数値を記載してください。） | | |
| 【進路セミナー】  参加者：〇人（中学生〇人、高校生〇人）　満足度：４．１　理解度：３．８  【職場見学会】  参加者：〇人（中学生〇人、高校生〇人）　満足度：４．２　理解度：４．０  ※満足度・理解度：アンケート結果（低１－５高　の５段階評価）の回答平均値 | | |
| 新たに把握した課題・将来に向けての展望 | | |
| 当初は業種の異なる３企業程度での職場見学会を予定していたが、想定より応募がなく、企業への働きかけの結果、１企業から了承を得られた。参加者がより具体的に将来のビジョンを描くためには、企業数（業種のバリエーション）が肝である。事業継続にあたって、企業に継続的にアプローチし関係を構築すること、企業側のメリットについて説得性のある説明が求められる。  また、アンケート結果からもうかがえるように、外国ルーツの生徒の進路に関する情報は不足しており、このような機会の需要は高いと思われる。動画等の資料を公開したところ、在校生が事業に参加しなかった中学校・高校からも、事業継続や拡充を求める要望があった。今後は、このような中学校・高校と連携し、また、市教育委員会・県教育委員会との連携の強化により、さらに現場ニーズを反映した事業を実施していきたい。 | | |

※行の高さは、必要に応じて調整してください。

※成果物（ちらし、調査報告書等）がある場合は、添付してください。

（様式第３号－２）

助　成　事　業　経　費　報　告　書

（単位：円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業内容 | 総事業額 | 助成額 | 積 算 根 拠 | 経費の財源内訳 | | | 事業実施主体 |
| まちづくり  助成金 | 実施団体  負担分 | その他  負担分 |
| 検討会議 | 300  （365） | 225  （365） | 会場賃借料  60千円×2回＝120千円  旅費  5千円×10人×2回＝100千円  コピー用紙・印刷費（資料用）  30円×50枚×10人×2=30千円  謝金  25千円×1人×2回＝50千円 | 120  (200)  25  (80)  30  (45)  50  (40) | 75  (0) |  | ○○市 |
| 【小　計】 | 300  （365） | 225  （365） |  | 225  （365） | 75  （0） |  |  |
| 進路セミナー | 330  （390） | 330  （390） | 会場賃借料  100千円×1回＝100千円  登壇者謝金  25千円×3人×1回＝75千円  旅費  5千円×13人×1回＝65千円  コピー用紙・印刷費（資料用）  30円×60枚×50部=90千円 | 100  (100)  75  (120)  65  (80)  90  (90) |  |  | 〇〇市 |
| 【小　計】 | 330  （390） | 330  （390） |  | 330  (390) |  |  |  |
| 職場見学会 | 285  （260） | 285  （260） | 謝金（通訳）  25千円×2人×1企業＝50千円  謝金（参加企業）  25千円×1企業＝25千円  広報宣伝費  120千円×1企業=120千円  旅費（通訳）  5千円×2人×1企業＝10千円  旅費（事業実施主体）  5千円×10人×1回＝50千円  コピー用紙・印刷費（資料用）  30円×20枚×50部×1企業=30千円 | 50  (40)  25  (20)  120  (120)  10  (10)  50  (40)  30  (30) |  |  | ○○市 |
| 【小　計】 | 285  （260） | 285  （260） |  | 285  （260） |  |  |  |
| 合 計 | 915  （1,015） | 840  （1,015） |  | 840  （1,015） | 75  (0) |  |  |

（注）１．（　　　）内には、経費内訳書の額（変更承認を受けた場合は、変更承認後の額）を記載してください。

２．事業内容ごとに経費の小計を設けてください。

事業実績で、旅費が助成金の額の２割を超えた場合は、２割以内になるように助成金の額を調整してください。

（様式第４号）

第　　　号

　　年　月　日

一般財団法人自治体国際化協会

理事長　〇〇　〇〇　様

〇〇市長　〇〇　〇〇

（公印省略）

多文化共生のまちづくり促進事業助成金交付請求書

　　　年　月　日付（自国多第　　号）で助成確定のあった事業について、

下記のとおり請求します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| １　事　業　名 | 在住外国人を対象とした就労支援事業 |
|  | |
| ２　請　求　額 | ８４０，０００円 |
|  | |
| ３　振　込　先 | |  |  | | --- | --- | | フリガナ | マルマルギンコウ | | 金融機関名 | 〇〇銀行 | | フリガナ | マルマルシテン | | 支店名 | 〇〇支店 | | フリガナ | マルマルシチョウ　〇〇　〇〇 | | 口座名義 | 〇〇市長　〇〇　〇〇 | | 預金種別 | 普通　｜　当座 | | 口座番号 | ０１２３４５６ | |